



◀フィナーレ



◀シャッター街になった商店街でだがし屋を営むおばあさんに昔に戻りたいかを聞くシーン

大盛況！「今を大事に生きる」を伝える

多久ミュージカルカンパニー第3回定期公演

多久ミュージカルカンパニー（TMC）の3回目となる定期公演が、4月6日、7日に多久市中央公民館で上演されました。TMCは多久市を拠点に活動している市民ミュージカル劇団。7歳から78歳までの36人が、年々レベルアップして公演を行っています。

今回の『Forever Now～永遠に変わらないものを求めて～』は、「今を大事に生きる」ことを伝えるストーリーで、コミカルなシーンやシリアスなシーンなどを歌やダンスで表現。約900人の観客を魅了しました。主人公の未来、風美を演じた4人は「いろんな人から応援してもらったので頑張れた」、「ソロで歌うパートがあって緊張したけど、お客さんの笑顔や拍手をたくさんもらって嬉しかった」と素敵な笑顔で答えてくれました。

桜の名所で多久の魅力を見よう！

孔子の里 桜まつり・多久城下ひなまつり

桜の名所西溪公園と多久聖廟周辺で、恒例の「孔子の里 桜まつり」が開催されました。

3月24日のオープニングイベントでは、国の重要文化財に指定されている多久聖廟の聖龕をモチーフに、産業技術学院の建築技術・設計科の学院生が地域貢献の取り組みの一つとして製作した八角形の「厨子のオブジェ」の披露や、書道講師の長谷沙耶香さんによる書道パフォーマンスが行われ、人を思いやる気持ちを込めた「仁徳」の二文字がしたためられ、会場からは歓声が上がりました。

西溪公園内の寒鶯亭では、多久城下ひなまつりも開催。多久保育園やのぞみ保育園、北部小児童が製作した作品が展示され、会場は多くの来場者でにぎわいを見せました。



◀字画にもこだわり選んだ「仁徳」の二文字がしたためられた書道パフォーマンス



保育園児が製作したかわいらしいひな人形

肝がんワースト1汚名返上プロジェクトCM

3/26

佐賀県は、肝がんの死亡率が13年連続で全国ワースト1という状況で、肝がんの約8割は肝炎ウイルスが原因と言われています。今回、坂田鉄工所（南多久町）にて、県が進める肝がんワースト1汚名返上プロジェクトキャンペーンCMの撮影が行われ、タレントのはなわさんとともに従業員10人が出演。肝炎ウイルス検査の受診をPRしました。坂田義人社長は「CMの撮影を機会に改めて日頃の健康管理など予防が肝心だと実感しています」と話しました。CMは6月に放送予定です。



新名物誕生！大平庵の『味噌カツ丼』

3/22

大平庵の『味噌カツ丼』が、県産食材を活かした、優れたメニューを表彰する「第2回“さが”地産地消コンテスト」の一品料理部門で優秀賞に選ばれました。多久地区JA女性部味噌加工グループが製造販売している、「孔子みそ」を活用したメニューです。考案者の武田耕一社長は「孔子みその風味を活かしたやさしい味に仕上げるため、試行錯誤した。このみそのおかげで新たな挑戦ができた。もっと改良していきたい」と意欲的です。

